

このユーザズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。



使用上のご注意 ~必ずお読みください~

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

本書では、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例) (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例) (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例) (プラグを抜く)

2007年1月 2版 (856-126105-001)





本書で使用する記号とその内容



注意の喚起

	特定しない一般的な注意・警告を示します。		高温による障害を負うおそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		分解・修理しないでください。感電や火災のおそれがあります。
---	-------------------	---	-------------------------------





行為の強制

	電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	--------------------------------------	---	--

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解していただき、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

< 全般的な注意事項 >

 注意	
  	<p>指定以外の用途に使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">・本13Uオフィスラックには、弊社が指定したものの以外を絶対実装して使用しないで下さい。・本13Uオフィスラックに添付されたACタップは、弊社が指定した装置専用のもので、他の電気製品を絶対接続しないで下さい。

第三者への譲渡について

本製品を第三者に譲渡（または売却）する時には、必ず本書を含む全ての添付品をあわせて譲渡（または売却）してください。

廃棄について

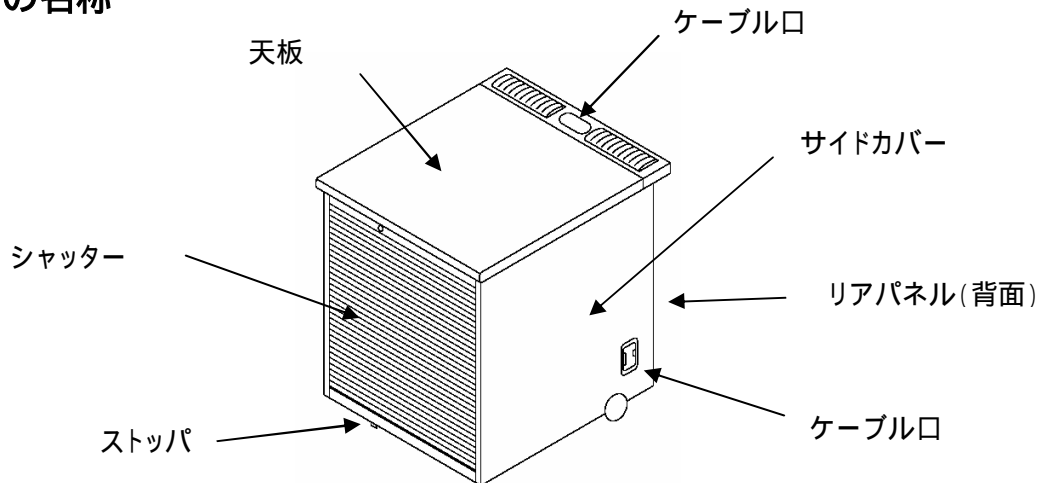
本製品の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従って分別廃棄して下さい。詳しくは、各自治体にお問い合わせ下さい。尚、装置添付のACタップにつきましても、他装置への転用を防ぐため、本体と一緒に廃棄して下さい。

はじめに

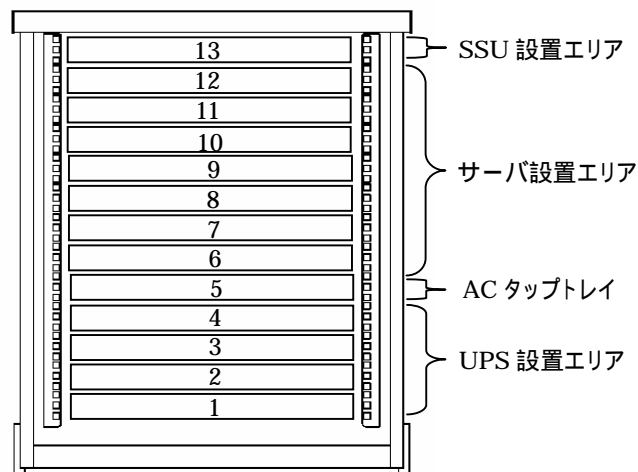
本装置の現地調整、定期点検、修理等を行う上での注意事項を以下に示す。

	警告	・複数の装置を同時に引き出さないで下さい。ラックの破損、転倒など事故の原因となります。 装置を引き出す際は、オフィスラックのセットアップガイド、各装置のユーザーズガイドと保守説明書の指示に従って作業を行って下さい。不適切な作業を行うと、装置が落下してケガをしたり装置が破損する原因となります。
--	-----------	---

ラックの各部の名称



装置搭載エリア




鍵番号の記録

万が一の紛失の場合に対応する為、あらかじめ鍵番号をお控えください。

鍵番号: _____

【目次】


 使用上のご注意 ~必ずお読みください~	1
安全にかかわる表示について	1
本書で使用する記号とその内容	2
安全上のご注意	3
はじめに	4
ラックの各部の名称	4
第1章 導入前の準備	
1.1 設置場所の調査	6
1.2 冷却	7
第2章 導入	
2.1 ラックの設置	8
2.2 装置の搭載	9
第3章 ケーブル	
3.1 ラック内のケーブルフォーミング	14
3.2 ラック外へのケーブル引き出し	16
第4章 保守	
4.1 定期保守	17
4.2 定期交換	17
4.3 撤去	17
4.4 寿命	17

第1章 導入前の準備

1.1 設置場所の調査

オフィ斯拉ックを導入する前に、設置場所に関する事項を調査しなければなりません。

1.1.1 搬入

 警告	・ラックを搬送する場合は必ず3人以上で作業を行ってください。 1人で作業をおこなうと、けがやラックの破損の原因となります。
---	--

梱包状態でのラック外形寸法

13U オフィ斯拉ック W:630×D:740×H:730(mm)

1.1.2 設置エリアと環境の確認

オフィ斯拉ックを設置する環境は、システムの安定した稼働を保証するために各種の規格を満足していなければなりません。搭載される装置の環境基準をクリアしているかを確認し、もし合致していない場合は、是正処置を図ってください。

- (1) ラックは各種の装置、部品を搭載したとき、下表の重量となります。

設置する床が耐えられるか確認してください。

	13U オフィ斯拉ック
最大総重量	200kg

- (2) 床が水平であることを確認してください。不安定な場所、傾斜のある床は避けてください。
(3) 温度変化が激しい場所、強い振動、強い磁気や電界、腐食性ガスなどの環境には設置しないでください。
(4) 塵埃が多い環境は避けるか、それを防ぐ処置を行ってください。
(5) 最大積載重量を越えないように装置を搭載してください。

	13U オフィ斯拉ック
最大積載重量(天板上への搭載も含む)	150kg(天板上は 70kg)

1.1.3 保守エリアの確保

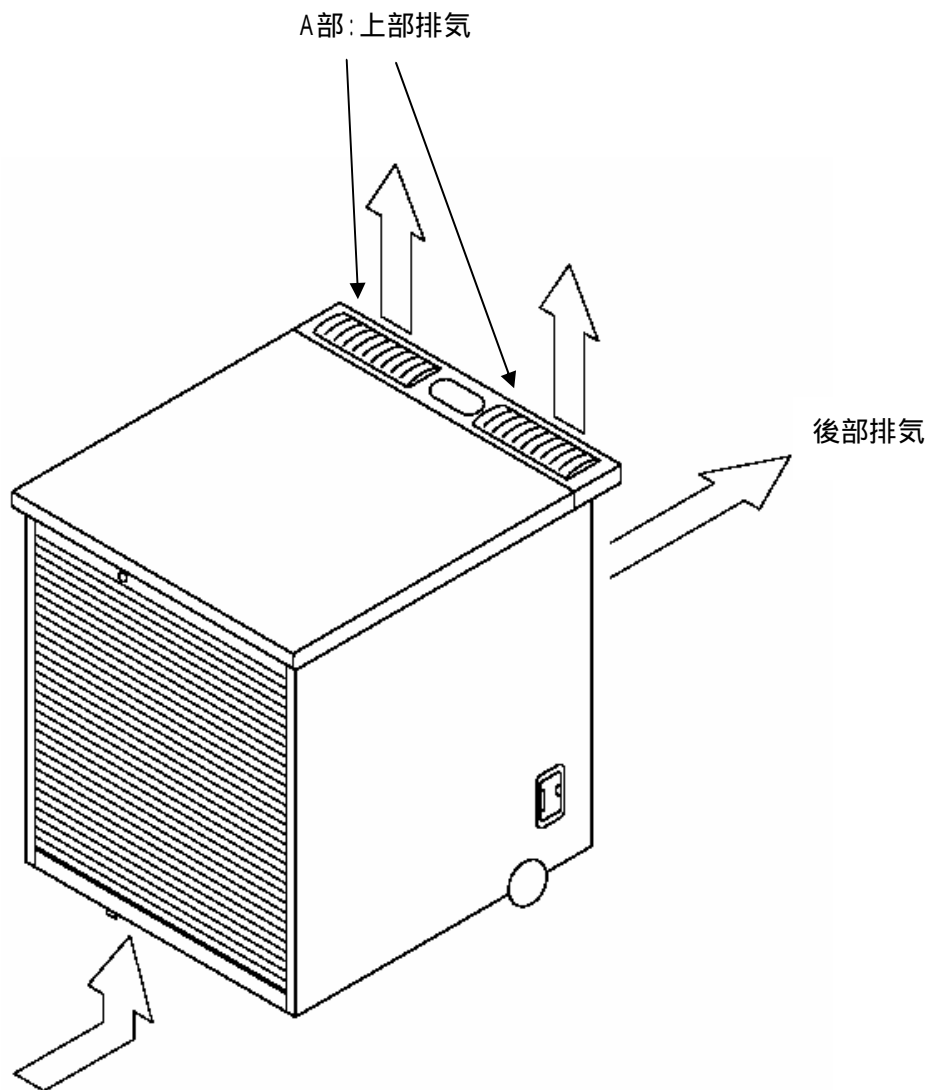
オフィ斯拉ックサーバを保守するために、必要な保守エリアを確保しておく必要があります。

オフィ斯拉ックは、ほとんどの保守(増設等)作業が、前面から可能です。その際、搭載される装置の奥行き分程度の保守エリアを、ラック前方に確保する必要があります。

また、背面保守する必要がある場合で、オフィ斯拉ック後方にスペースがない時には、オフィ斯拉ックを手前に移動させて、作業できるエリアを確保してください。

1.2 冷却

オフィ斯拉ックは、前面の下部から吸気し、背面または、背面上部から排気します。吸気を妨げない為に、オフィ斯拉ックの前に物を置かないでください。また、背面を壁に寄せて設置される場合は、Aのエリアを塞がないでください。



吸気

吸気の妨げになるような物を置かないでください。

第2章 導入

2.1 ラックの設置

ラックが搬入され、設置する場所までラックを移動してください。その時には安全のために3人以上で作業を行ってください。



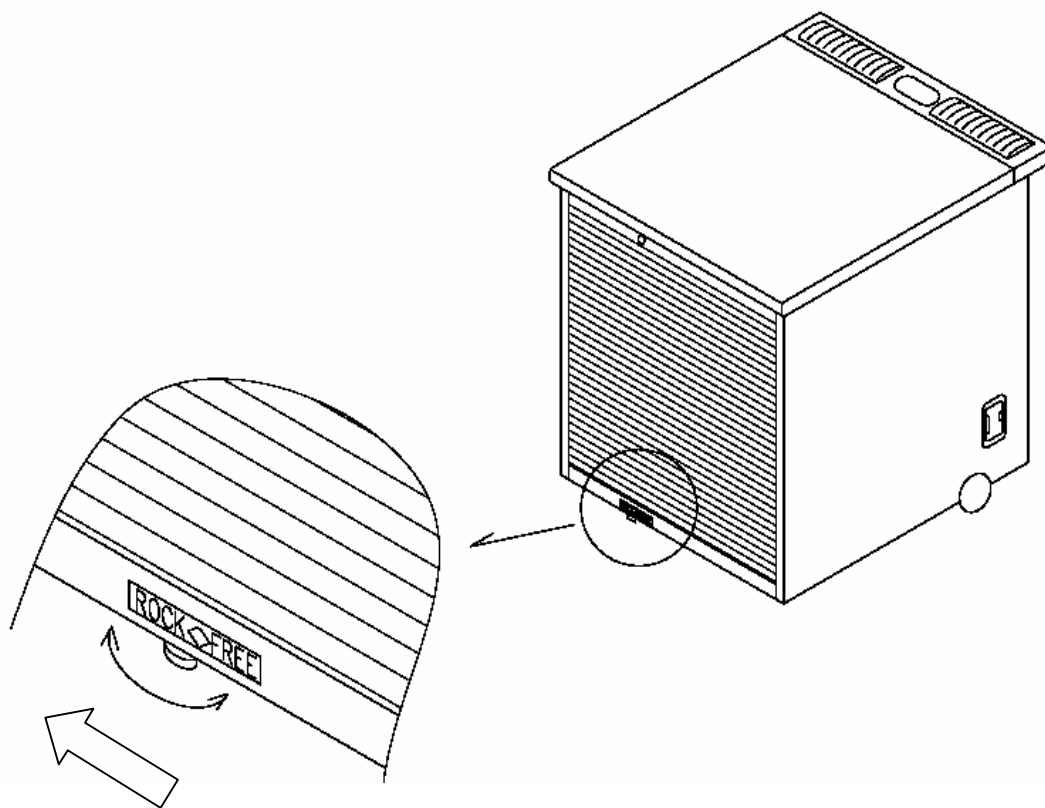
警告

・ラックを搬送 / 設置する場合は必ず3人以上で作業を行ってください。
1人で作業をおこなうと、けがやラックの破損の原因となります。

2.1.1 ラックの固定

ラックに装置を搭載する前にラックをストッパにてロックして固定してください。

運用時は、ロックしてご使用ください。




固定 (Rock)

2.2 装置の搭載

ラックの設置が完了したらラック内に装置を搭載します。装置の搭載方法については、搭載する装置のユーザーズガイドに従い作業を行ってください。

尚、装置を搭載する場合は、ケーブルフォーミングの作業性、低重心化によるラックの設置安定性のため、ラックの下段から搭載してください。

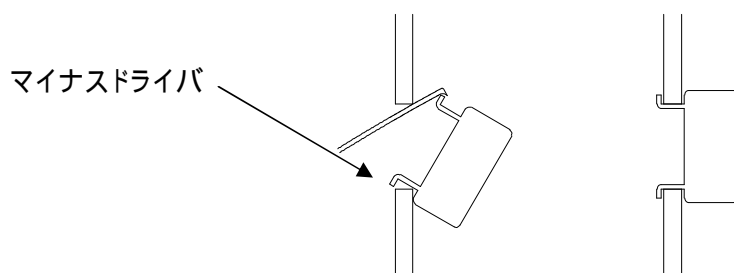
 警告	装置を搭載または降ろす場合は、装置のユーザーズガイドに従い、作業をおこなってください。
---	---

(1) コアナットの取り付け

装置搭載の際ラックにコアナットの取り付けが必要な場合は、ラックが装置に添付されているコアナットを取り付けてください。

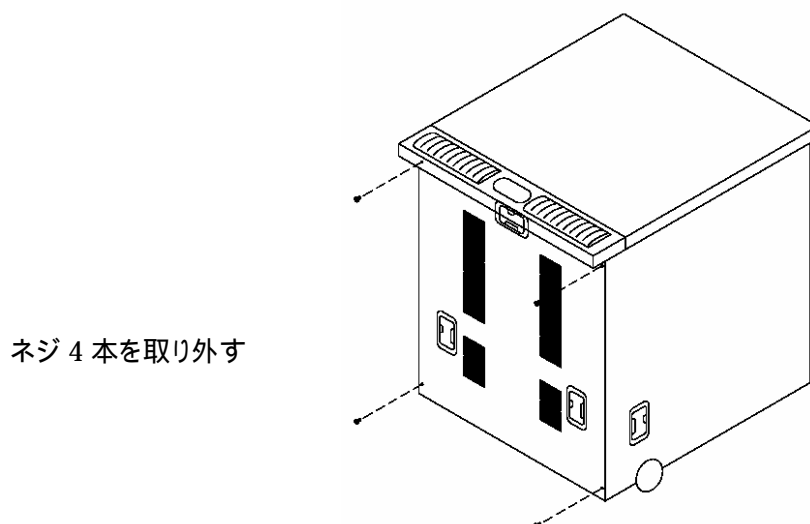
コアナットの取り付け方法例

・コアナットの下を角穴の内側にひっかけ、上側をマイナスドライバなどの先端でひっかけ手前に引き込みます。



(2) リアパネルの取り外し(背面保守する必要がある場合)

・図のリアパネルを固定しているネジを外し、リアパネルを取り外します。



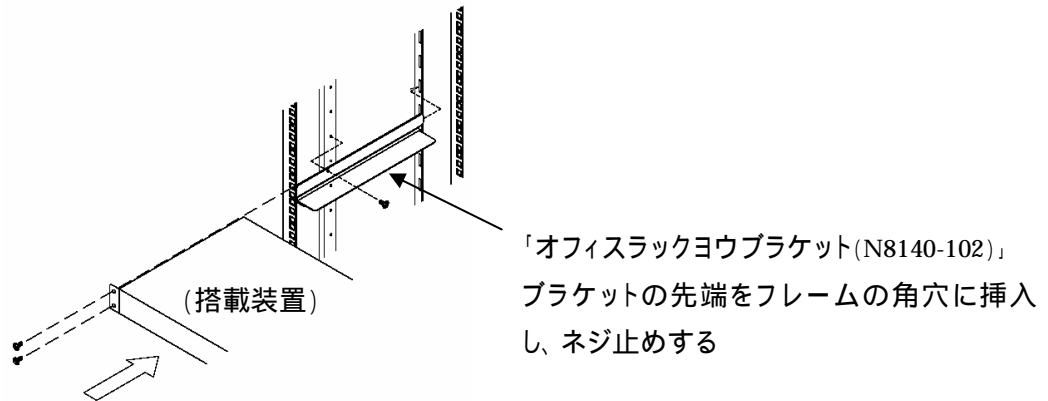
(3) サーバ本体の取り付け

サーバ本体を搭載する場合は、専用の「オフィスラックヨウブラケット(N8140-102)」を図のように取り付け、装置を固定します。

装置を搭載する場合は、ラックの下段から搭載してください。

ケーブルフォーミングを容易にする為、装置を搭載する前にケーブルを通してください。

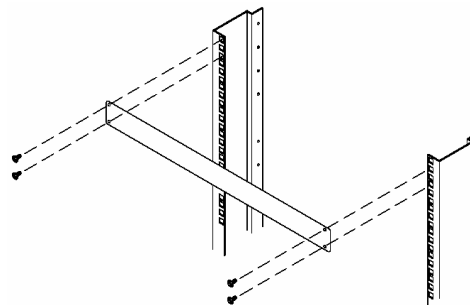
(参照: 第3章ケーブル)



(4) ブランクパネルの取り付け

装置を搭載しない場所には、図のように、blankパネル(添付品)を取り付けてください。

冷却上、必要ですので、必ず塞ぎ板を取り付けて運用してください。



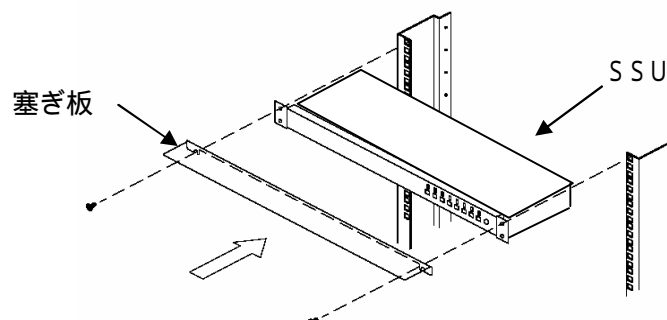
(5) SSU の取り付け

SSUを取り付ける場合、ラックの一番上段の前側に取り付けます。この際、操作パネルとSSU本体とを分離させないでください。

また、図のように、塞ぎ板(添付品)をSSUと共締めします。

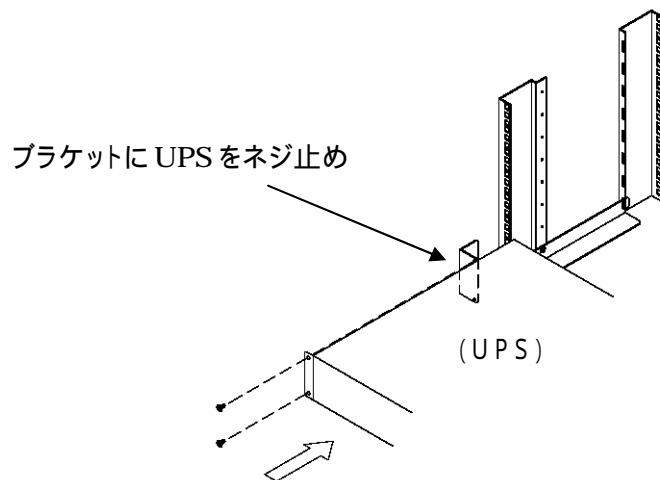
冷却上、必要ですので、必ず塞ぎ板を取り付けて運用してください。

SSU 搭載後は、ケーブル接続しづらいので、SSU 搭載前にケーブル接続しておくことを推奨します。



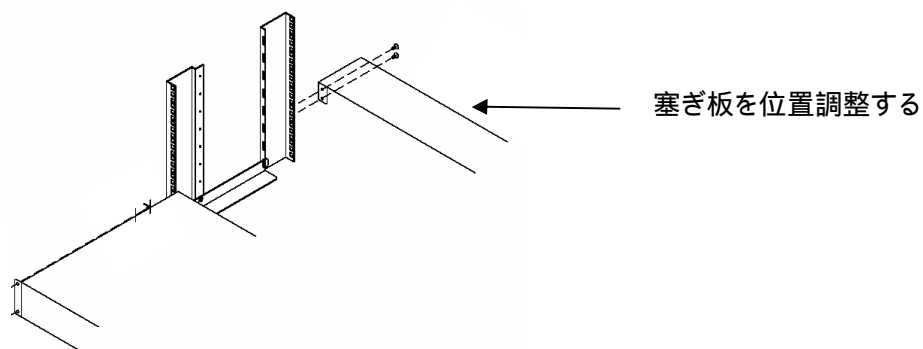
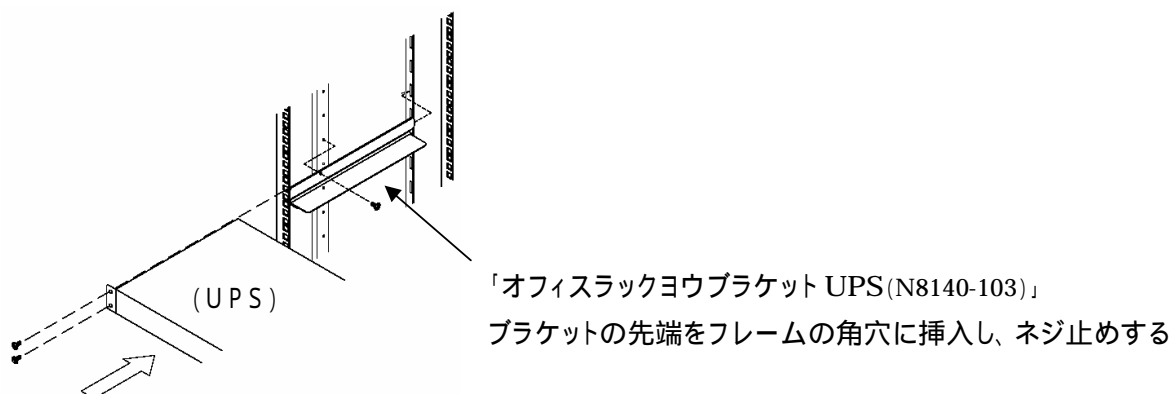
(6) UPS 装置の取り付け

a) 1 台目の UPS 装置を搭載する場合は、UPS 搭載エリアの下段に搭載し、図の様にネジ止めします。



b) 2 台目の UPS を搭載する場合は、専用の「オフィスラックヨウブラケット UPS (N8140-103)」を図のように取り付け、前項 a) 同様にネジ止めします。

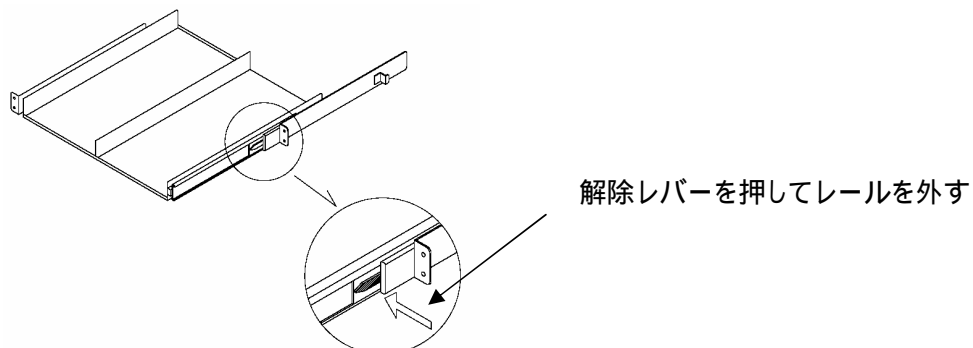
この際、UPS 後方・上面の、塞ぎ板が UPS にぶつからないように位置調整してください。



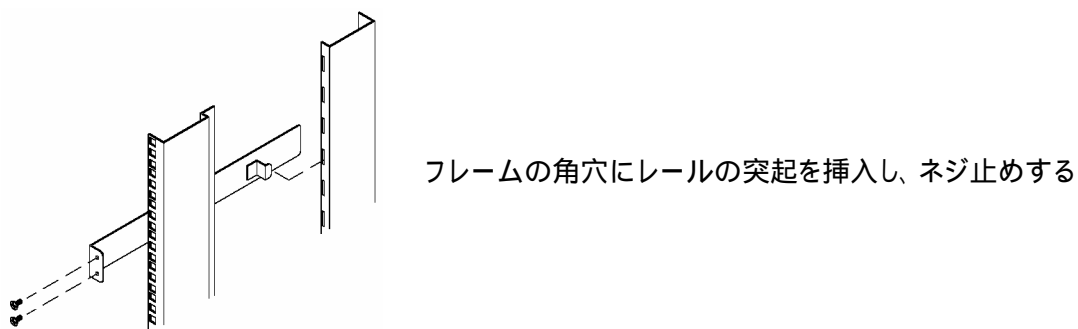
(7) DAT 装置搭載用トレイの取り付け

a) DAT 装置を搭載する場合は、専用の「オフィ斯拉ックヨウハンヨウトレイ (N8140-101)」を図のように取り付けます。

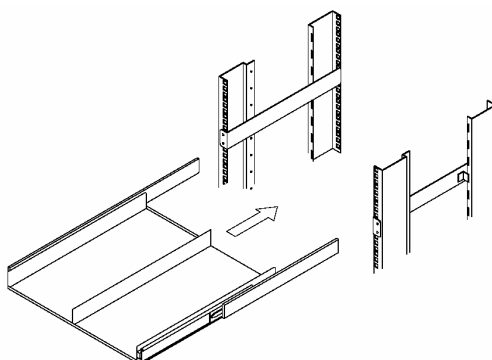
・レールを取り外す



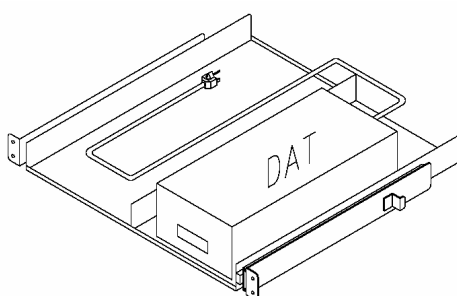
・レールをラックに取り付ける



・トレイをレールに挿入する

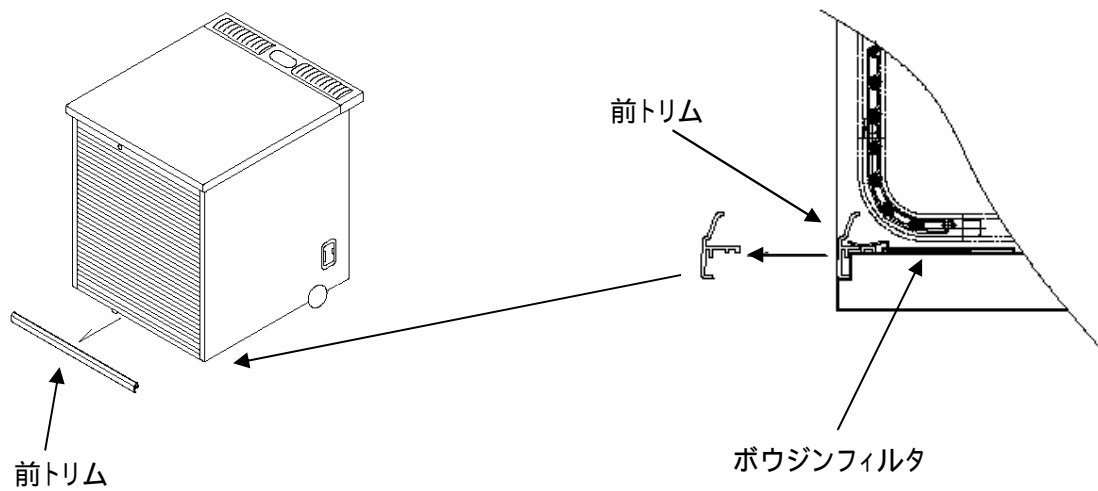


b) ハンヨウトレイに、DAT 装置を図のように搭載し、ケーブルを接続します。

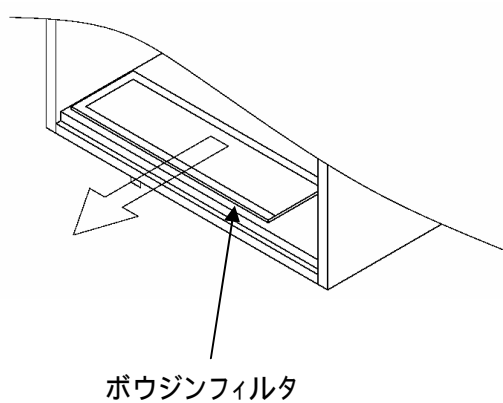


(8) ボウジンフィルタの交換方法

a) 前トリムを手前に引いて外します



b) ボウジンフィルタを取り出す



第3章 ケーブル

接続されるケーブルは、搭載される装置によって異なります。ここでは、基本的なケーブルフォーミングの方法について説明します。

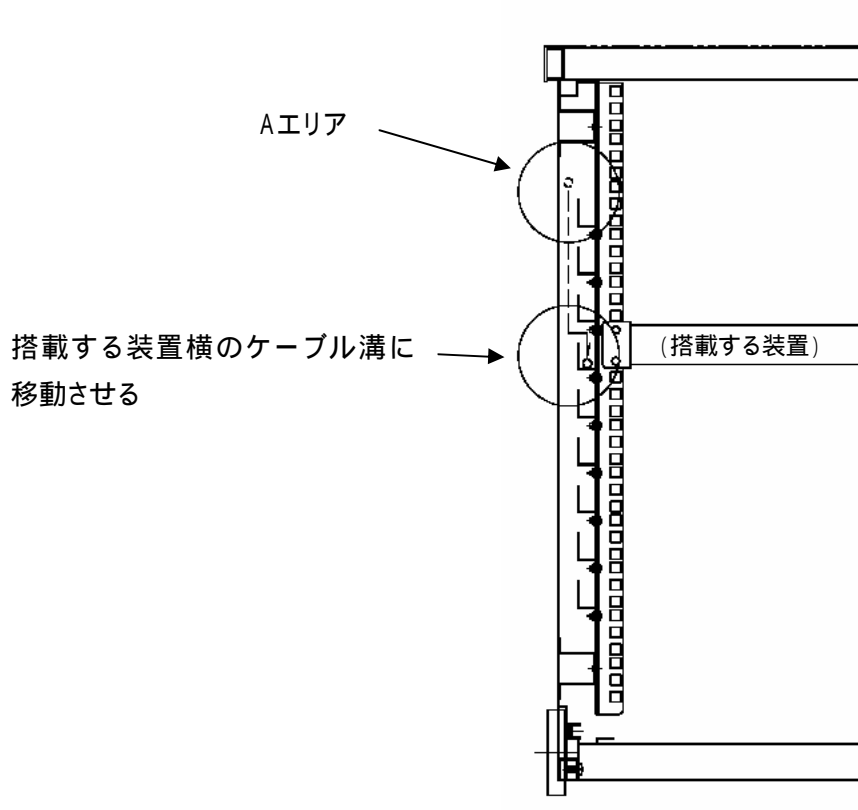
3.1 オフィスラック内のケーブルフォーミング

(1) オフィスラック内の、向かって左側エリアのケーブルフォーミング方法

装置の前面に接続されるケーブルを、ラック後方に通す場合は、向かって左側の「ケーブル溝」を通します。この際、ケーブルにストレスがかからない様に注意し、必要に応じ、ケーブルは、リピータイなどで固定してください。

装置を搭載する前に、先にケーブルを通す方が、容易に作業できます。

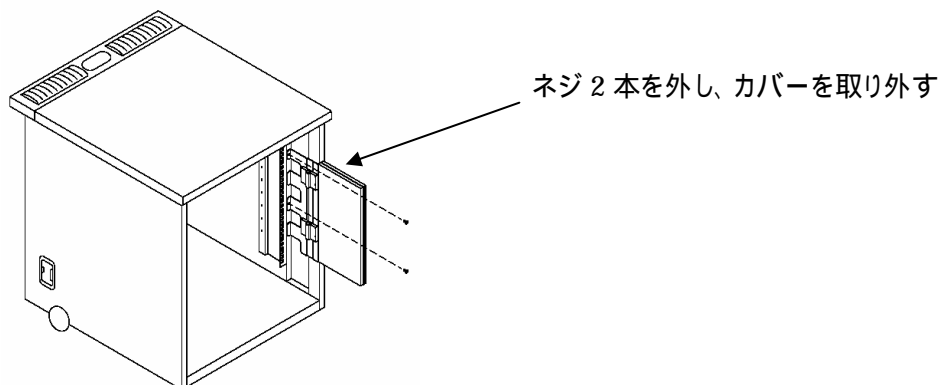
- a) ケーブルは、最初に、図中Aのエリアを使って、通しておき、その後、接続される装置の搭載場所横のケーブル溝まで移動させ、フォーミングします。
- b) ケーブル溝でフォーミング後、装置のコネクタに接続させます。



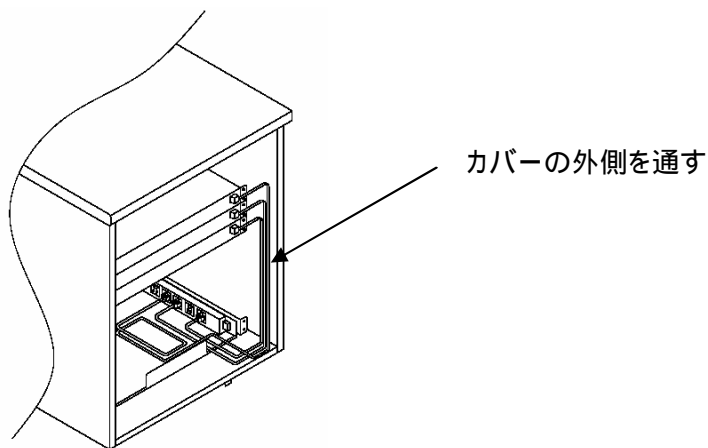
ラック前方から見た図

(2) オフィスラック向かって右側のケーブルフォーミング

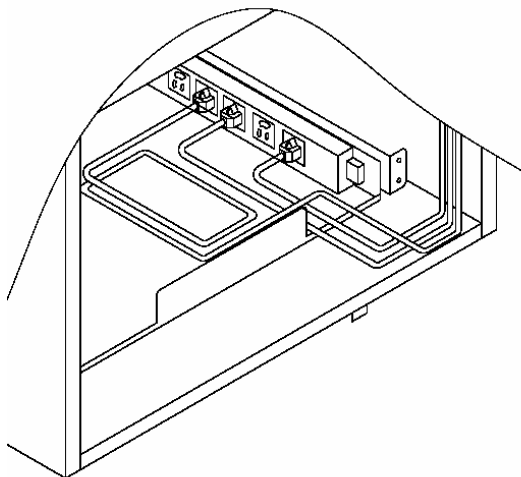
装置の前面に接続されたケーブルを、他の装置前面に接続する場合は、図のように、カバーを取り外し、カバー内側のケーブル溝に通します。



ケーブルが溝に入りきらなかった場合は、カバーを取り付け、カバー外側を通します

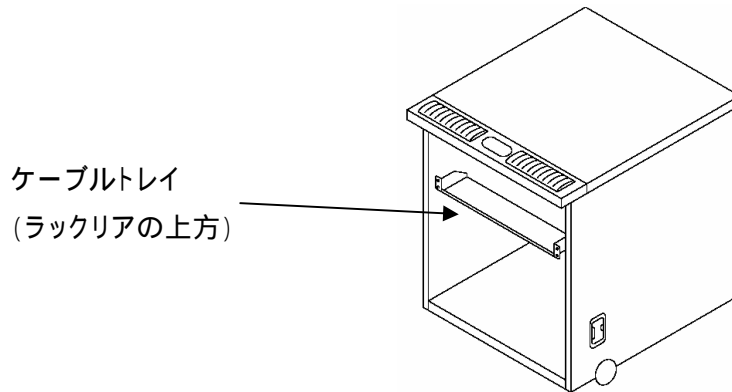


AC ケーブルの場合は、ケーブル余長を AC タップトレイ上のエリアで処理してください。

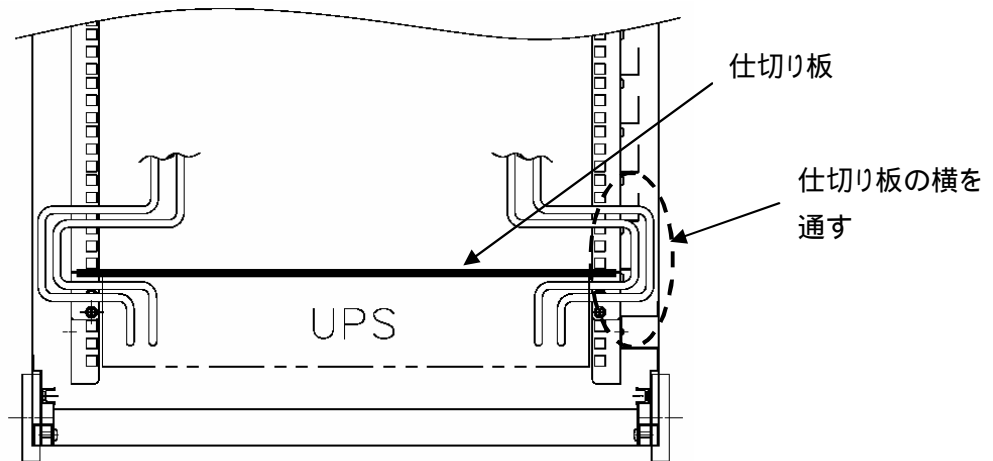


(3) オフィスラック背面のケーブルフォーミング

背面で SSU のケーブル余長を処理する場合は、図に示すケーブルトレイを用いて処理してください。この際、SSU を前方に引き出す分の長さを確保してください。

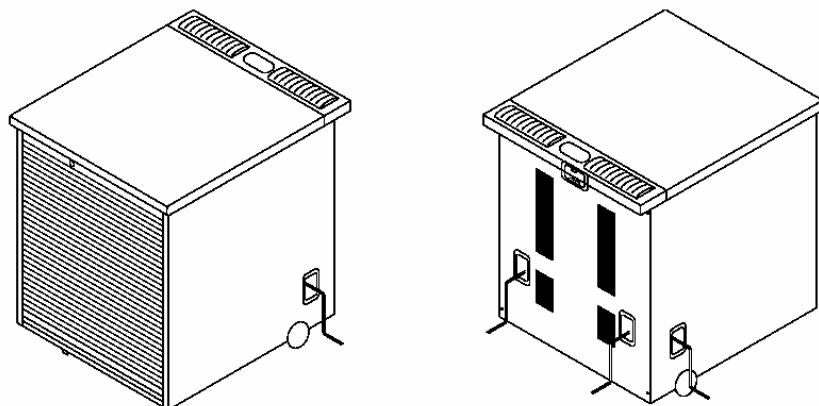


UPS と装置とを接続する場合は、図の様に、仕切り板の横を通してください。



3.2 オフィスラック外へのケーブルフォーミング方法

ラック外へケーブルを引き出す場合は、図に示すケーブル口を通してください。その際、ケーブル口に取り付けてある蓋は取りはずしてご使用ください。ケーブルにストレスの掛からないルートになるように、適切な場所を選定してください。



第4章 保守

4.1 定期保守

本書で説明しているラックと、それに関連する各種の部品に関しては、毎日の点検はありません。しかしラックマウントシステムとして搭載されている装置が安定して動作するように下記の保守事項を実施してください。

(1) ラック内の清掃

ラック内、及び、ボウジンフィルタに埃が溜まると、冷却性能の低下や、装置の故障の原因となります。3 ヶ月に1度以上の清掃を行うことを推奨します。なお、埃の性質によっては、清掃では、冷却性能が維持できない場合もありますので、定期的にフィルタを交換することを推奨いたします。

(2) 固定金具のゆるみの点検

トレイなどを取り付けている金具が振動でゆるむ可能性があります。6 ヶ月に1回は、これらの金具のゆるみがないか点検してください。

(3) 搭載されている装置の点検

それぞれの装置のユーザズガイドに従って点検と保守を行ってください。

4.2 保守部品

保守部品を下記に示します。

KEY全種類	(H0140-0100-30001)
コアナット50PCE	(H0140-0100-30002)
シャッター	(H0140-0100-30003)
遮音ドアパネルLR	(H0140-0100-30004)
天板	(H0140-0100-30005)
前トリム	(H0140-0100-30007)

4.3 撤去時の注意

各搭載装置をすべてラックから降ろしてください。ラックの運搬は、搭載物がない状態で行ってください。

4.4 寿命

本書に記載するラックとその関連製品の寿命は5年とします。